

平成29年8月29日

平成29年12月期
第2四半期決算説明会

使命
悪をなさない
利益を生み出す
永続する

理念
人ひとりを大切に
地域社会への貢献
お客様を第一に

社訓
日々向上
創意工夫
同心協力

おかげさまで
70th ANNIVERSARY

OKURA 大倉工業株式会社

OKURA 真心を込め、夢を叶え、技術を進化させる

おかげさまで
70th ANNIVERSARY

夢がある。
技術がある。
未来ができる。

OKURA 真心を込め、夢を叶え、技術を進化させる

おかげさまで
70th ANNIVERSARY

私たちに、夢があります。
そして、その夢をかたちにする技術があります。
人の暮らしをもっと快適にしたい。
進化した未来をつくっていききたい。
そのために、決して目立つものではなくても、
必ず役立つものを。
これからも、ひとつずつ、世の中に届けていきます。

OKURA 真心を込め、夢を叶え、技術を進化させる

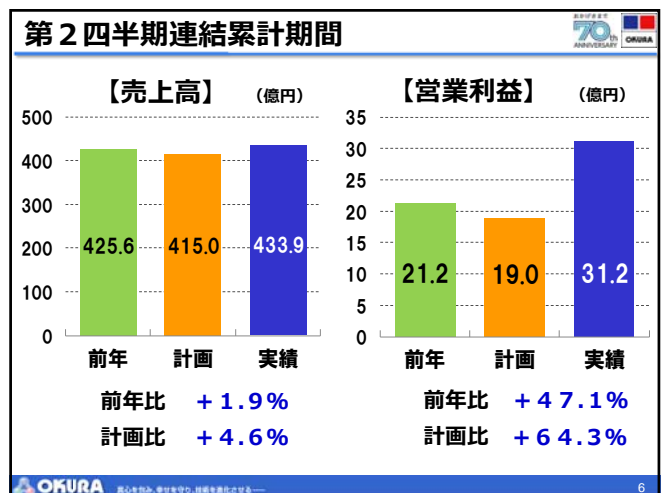
目次

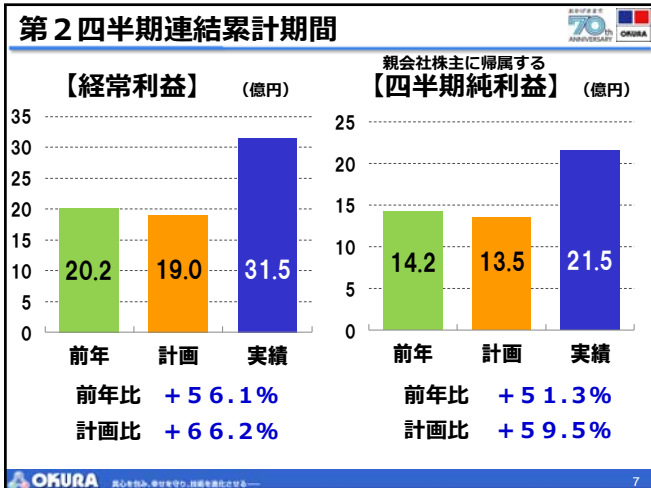
1. 第2四半期決算の概要
2. 通期の業績予想

OKURA 真心を込め、夢を叶え、技術を進化させる

1. 第2四半期決算の概要

OKURA 真心を込め、夢を叶え、技術を進化させる





第2四半期連結累計期間

70th ANNIVERSARY OKURA

(億円)

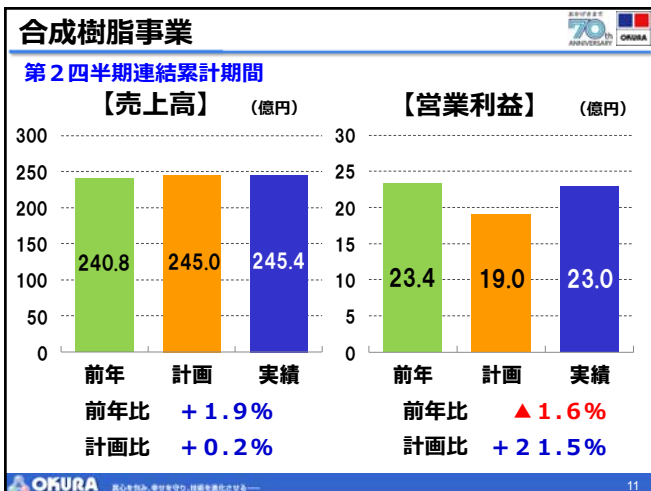
	H28上期	H29計画	H29上期	前年比	計画比
売上高	425.6	415.0	433.9	+1.9%	+4.6%
営業利益	21.2	19.0	31.2	+47.1%	+64.3%
経常利益	20.2	19.0	31.5	+56.1%	+66.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	14.2	13.5	21.5	+51.3%	+59.5%

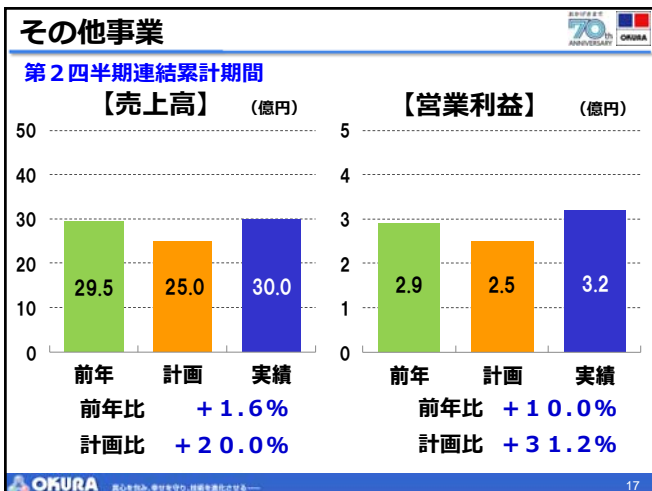
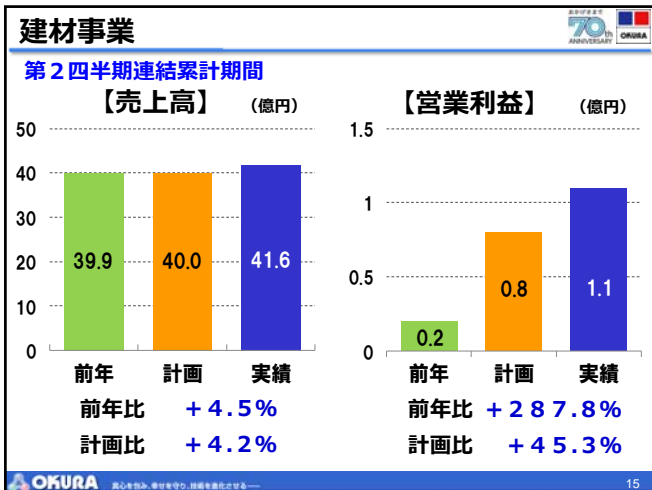
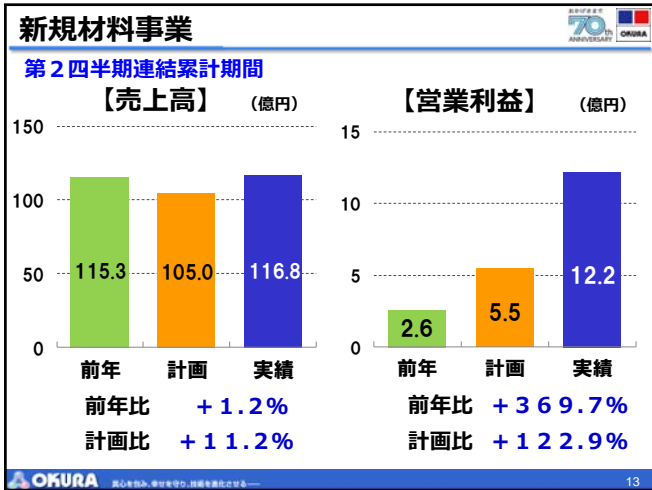
売上高及び利益のいずれも前年・計画を上回る

OKURA 真心を込め、夢を叶えよう。技術を進化させる。

セグメント別の概要

OKURA 真心を込め、夢を叶えよう。技術を進化させる。





キャッシュ・フロー

OKURA 70th ANNIVERSARY

連結キャッシュ・フロー計算書



(億円)

	H28上期	H29上期
現金及び現金同等物期首残高	73.8	74.7
営業活動によるキャッシュ・フロー	32.5	31.0
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲9.1	▲22.4
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲25.8	▲16.2
現金及び現金同等物期末残高	70.6	66.9

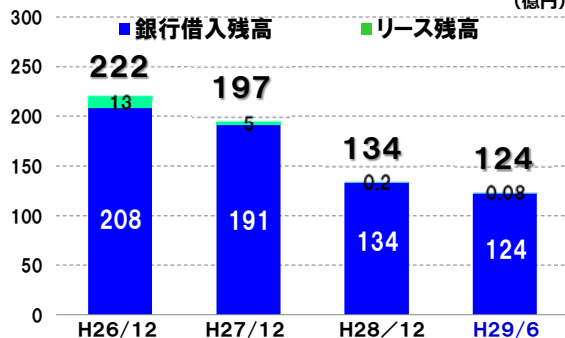
増益ながらも法人税等の支払い増加により、営業CFは若干減少

設備投資の増加により、投資CFは減少

実質借入金残高（連結）

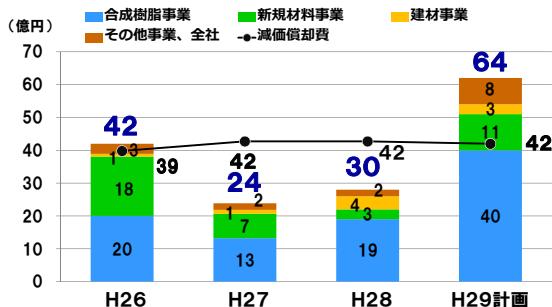


(億円)



借入金月商倍率は1.72ヶ月（前期末は1.88ヶ月）

連減価償却費及び設備投資（工事ベース）



H29上期は更新工事等を中心に計画するも、実績は約20億円と若干遅れ気味

2. 通期の業績予想

通期業績予想



(億円)

	前期実績	H29計画 (2月公表)	H29予想 (7月修正)
売上高	860	865	880
営業利益	47.1	39.0	51.0
経常利益	46.5	39.0	51.0
親会社株主に帰属する 当期純利益	25.0	26.0	26.5

7月28日に通期業績予想の修正を発表

通期業績予想



マクロ見通し

米国新政権の政策や欧州における政治リスク、中国やアジア新興国等の景気減速懸念など、景気は先行き不透明な状況

売上高・営業利益・経常利益

上半期に引き続き、拡販や歩留まりの改善、固定費の削減に努め、当初の下半期計画値を必ず達成させる

親会社株主に帰属する当期純利益

下半期において構造改革を検討していることから、それらに伴う費用の計上を織り込む

通期業績予想

売上高 (億円)

	前期実績	H29計画 (2月公表)	H29予想 (7月修正)
合成樹脂事業	486	500	500
新規材料事業	233	230	240
建材事業	81	80	80
その他	60	55	60
合計	860	865	880

OKURA 70th ANNIVERSARY

通期業績予想

営業利益 (億円)

	前期実績	H29計画 (2月公表)	H29予想 (7月修正)
合成樹脂事業	48.1	37.0	41.0
新規材料事業	8.8	13.0	19.5
建材事業	0.4	2.0	2.2
その他	6.5	5.0	5.5
調整額	▲16.9	▲18.0	▲17.2
合計	47.1	39.0	51.0

OKURA 70th ANNIVERSARY

セグメント別の課題認識

OKURA 70th ANNIVERSARY

合成樹脂事業

目指す将来像につなげるために「顧客構造を変え、製品構成を変える」
 - 直需志向で製品開発し、生産技術・製品品質による競争優位を目指す -

OKURA 70th ANNIVERSARY

合成樹脂事業

選択と集中による事業領域の拡大

重点課題

- ① BU再編 (6グループ制→4BU制)
- ② シュリンクフィルム製品拡販のための最新設備導入
- ③ 関東地区での製造・営業強化

上期：細やかな拡販の成果で数量増(+3.7%)
 下期：引き続き拡販と投資設備の早期フル稼働

OKURA 70th ANNIVERSARY

新規材料事業

社会環境は、AI、自動運転等、より高度に情報化が進む。
 顧客企業から最高のパートナーとして認められるために、
 加工技術を更に磨くことが必要となる。

OKURA 70th ANNIVERSARY

新規材料事業



利益が出る事業に立て直し 成長分野での要求に対応

重点課題

- ① 仲南G棟の安定稼働と生産性向上
- ② 新樹脂原料での光学フィルム拡販

上期: 仲南G棟の収率が改善

下期: 中小型向けフィルムや新樹脂フィルムの拡販

建材事業



建材事業



高付加価値製品の拡充

重点課題

- ① PBの生産・販売の最適化
- ② フロア拡販、構造用PB事業の本格化
- ③ ラミネート技術の進化と製品開発

上期: フロア関連PBが堅調

下期: 稼働率向上による生産量の確保

業績予想・事業計画に関する注意事項



本資料に掲載されている業績予想・事業計画は、当社が現時点で入手可能な情報及び種々の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等の結果は、今後生ずる様々な要因によって、予想・計画とは異なる場合がございます。